

ホハ12000組立説明書

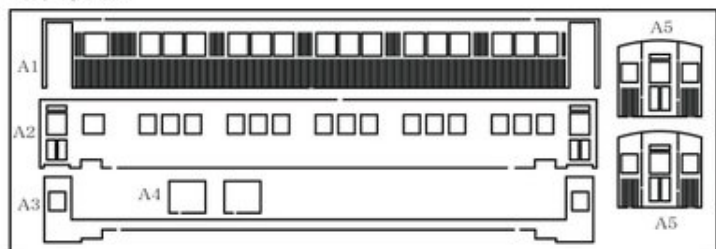
この度は当キットをお買い上げ頂き、ありがとうございます。
組み立てに当たってはこの組み立て説明書を最後までよくお読み頂き、
手順を整理してから組み立てに取り掛かりますようお願いいたします。

- キットの特性上、模型に関する知識の無い人は適しません。材質や形状によって不注意に取り扱いますと危険ですから、十分にご注意下さい。
- このキットは小さな部品が使われており、誤って飲み込むと思わぬ事故が起こる危険性が有りますので、小さなお子様には絶対に与えないで下さい。
- この注意書は必ず保管しておいて下さい。
- 何かございましたら、IORI工房 (<http://iori.uji-masa.com/>) HPメールホームまで。

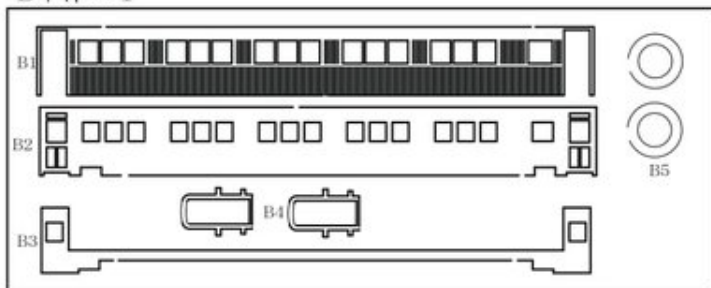
セット内容

欠品が無いことを確認してください

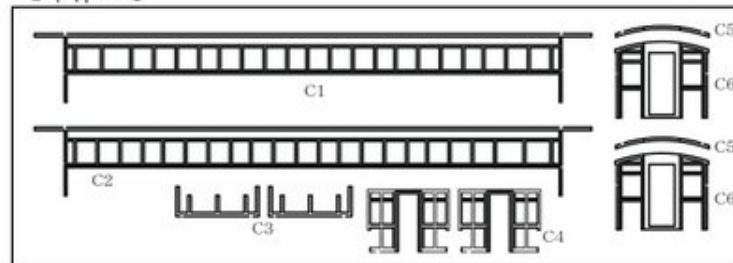
A車体×1



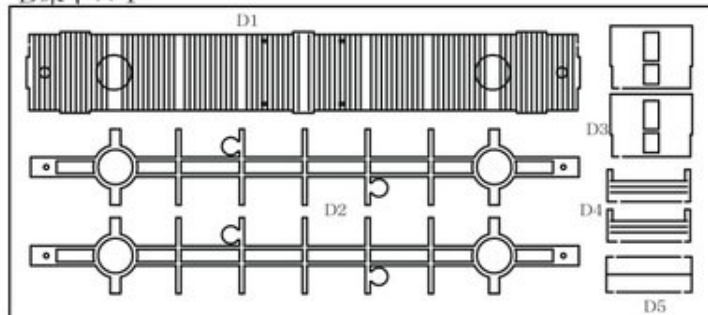
B車体×1



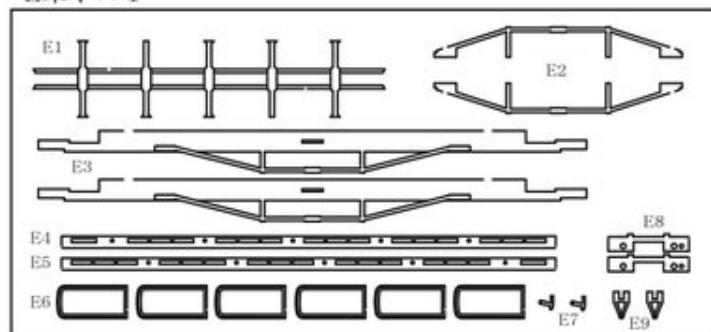
C車体×1



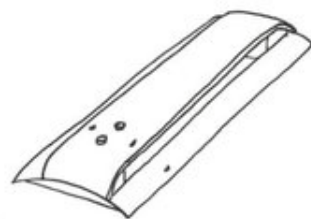
D床下×1



E床下×1



屋根×1



トルベード
ベンチレーター×10



真空ブレーキホース×2

台車ボスタ×2



バッファー×4



ブレーキシリンダ×2



ステップ×4



車軸発電機×1



電池箱ベース×2

デカール×1

3Dプリントパーツについて

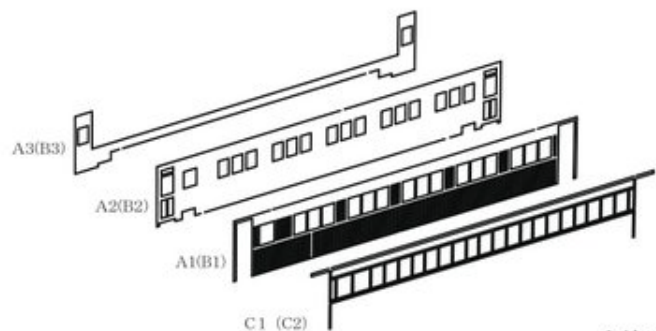
油灯、真空ブレーキホース、は3Dプリント品となっています。
 中性洗剤でよく洗浄してから瞬間接着剤（プラ用接着剤は不可）で車体に取り付けて下さい。

部品解説

●この模型は明治末期の形式図を元に設計していますが、明治中期の改番前の姿も再現できるよう、各時代用の表記を入れてあります。好みで選択してください。

車体の組立

まず側板と妻板を組み立てます。それぞれの板はクリアスプレー、サーフェーサーなどを使って貼り合わせます。



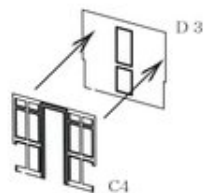
側板



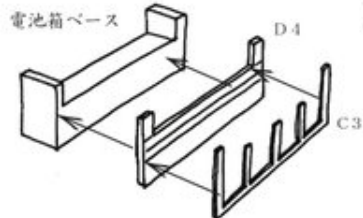
C5、C6、A5は3つ折れになるよう若干曲げてから張り重ねますが、特にC6は細く曲げ辛いので唾え部の長いヤットコ、ピンセットもしくはスケール等ではきんで曲げてください。各製品の折れ角度は屋根部品を参考にしてください

妻板

デッキ仕切り板



電池箱

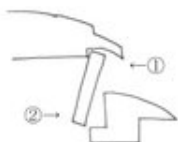


電池箱は先にD4とC3を張り合わせてから電池箱ベースに接着するようにすると楽でしょう

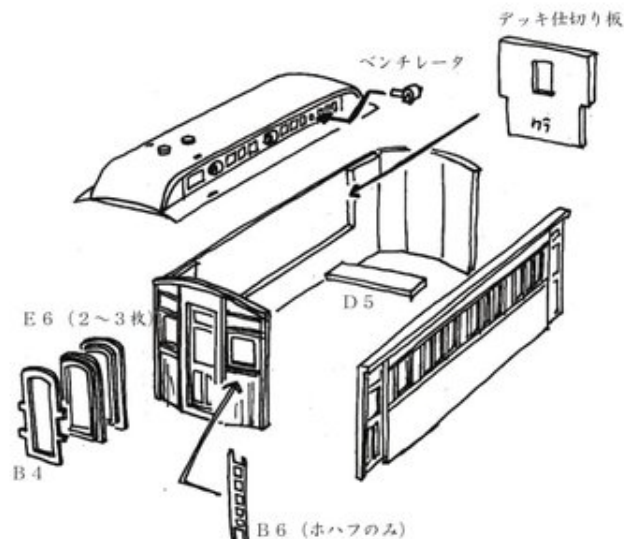
屋根



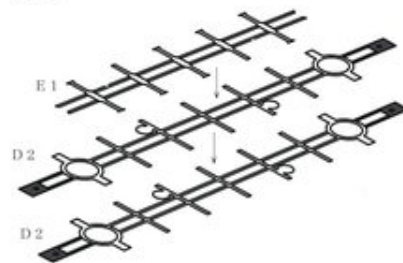
3Dプリント品の屋根パーツに明り取り窓E4、E5を取り付けます。
 部品には向きがありますので上図を参考にしてください。
 取り付けの際は右図のようにまず上側を入れてから下側を押し込むようにするといいでしょう。接着はゴム系接着剤などを使います



- 車体はD5を組み入れつつ箱にします。
- 幌はE6を2～3枚（好みで加減してください）貼り重ね、灰色に塗装後に別途塗ったB4を貼ります。
- 屋根は屋上給水口がある側がトイレ側になります。
- デッキ仕切り板はディテールがある側を車端側に向けて取り付けます。

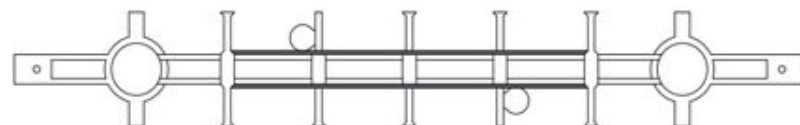
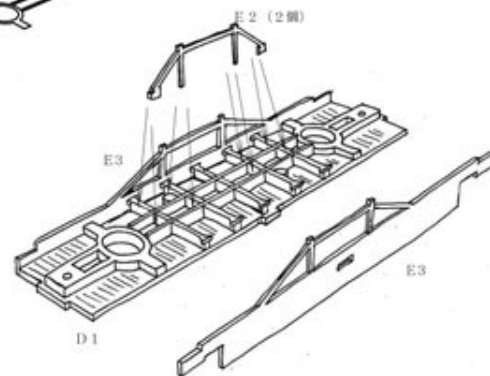


床板



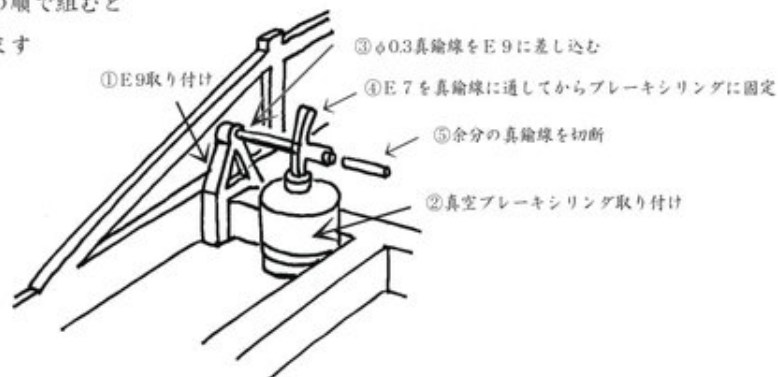
まずD2を2枚とE1を張り重ねて台枠を作ります。
 連結器に台車のカブラーを生かす場合はD2のカブラ取り付け座（図中灰色支持部）が干渉しますので切り取って下さい

次にD1にE3を取り付けコの字型にし、上で作った台枠を貼り付けます。
 （図だと台枠貼り付け後にE3取り付けっぽくなってますが、先にD1に台枠を貼るとD1とE3が密着しなくなる場合があります）



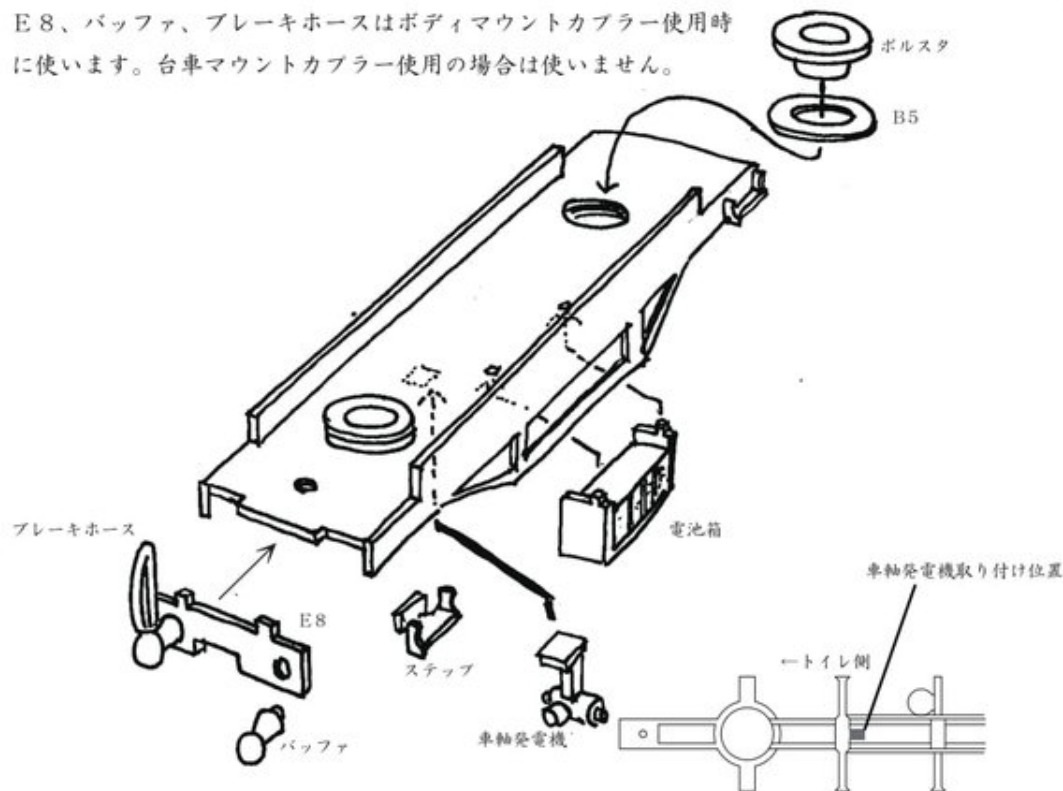
E2は上図の位置（灰色になってる所）に取り付けます

ブレーキシリンダ周りは厄介ですが
おおむね右図①～⑤の順で組むと
やりやすいかと思えます



ボルスタはB5スペーサを挟んでから取り付けますが、結構台車と台枠の隙間がシビアになりますので走行性能を重視する場合はスペーサなしで組んでください。

E8、バッファ、ブレーキホースはボディマウントカブラー使用時に使います。台車マウントカブラー使用の場合は使いません。



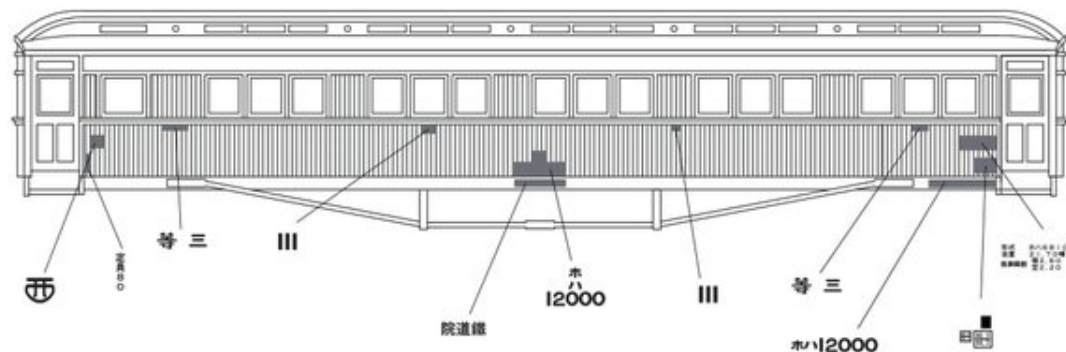
■ 塗装

1 車体にサーフェーサーを吹いて地色を整えます。

2、乾燥したら車体を塗装します。車体色はぶどう色1号、屋根はダークグレーを塗ります。等級帯は赤です。帯幅は1ミリくらいがいいでしょう
デカールでナンバーを入れた後は、クリアスプレーでオーバーコートします。

レタリング

車体表記用にデカールが付属しています。
貼り付け位置は図を参考にしてください。



ホハ12000 車番デカール

院道線	省運線	院道線	省運線	院道線	省運線	院道線	省運線	院道線	省運線	院道線	省運線	院道線	省運線	院道線	省運線	院道線	省運線
東	東	東	東	III	III	III	III	III	III	等三	等三	等三	等三	等三	等三	等三	等三
西	西	西	西	III	III	III	III	III	III	等三	等三	等三	等三	等三	等三	等三	等三
ホハ6810	ホハ6810	ホハ6810								ホハ12000	ホハ12000	ホハ12000					
ホハ6833	ホハ6833	ホハ6833								ホハ12012	ホハ12012	ホハ12012					
ホハ6924	ホハ6924	ホハ6924								ホハ12254	ホハ12254	ホハ12254					
ホハ7129	ホハ7129	ホハ7129								ホハ12153	ホハ12153	ホハ12153					
ホハ7162	ホハ7162	ホハ7162								ホハ12310	ホハ12310	ホハ12310					
ホハ6810	ホハ6810	ホハ6810								ホハ12000	ホハ12000	ホハ12000					
ホハ6833	ホハ6833	ホハ6833								ホハ12012	ホハ12012	ホハ12012					
ホハ6924	ホハ6924	ホハ6924								ホハ12254	ホハ12254	ホハ12254					
ホハ7129	ホハ7129	ホハ7129								ホハ12153	ホハ12153	ホハ12153					
ホハ7162	ホハ7162	ホハ7162								ホハ12310	ホハ12310	ホハ12310					

車体と床板は両面テープ等で固定します。
連結器はマグネマティックの#2001(短)を使う場合は車端側の穴、ねじ連結器(ボギー車用)を使う場合は中央側の穴を利用して取り付けてください。